

令和 8 年度社会人入試における学力検査(化学基礎)の出題(選択肢)に関して

化学基礎

- ・選択肢の形式と数について、令和 6 年度入試までは 5 択の中から 1 つ選択でしたが、
令和 8・7 年度入試より出題形式によって選択肢の数が 6 択・8 択・10 択(最大)に変更となります。

【出題例と解答・解説】

ある濃度の過酸化水素水 100 mL に酸化マンガン(IV)の粉末を加えたところ、次の反応が進行し酸素が発生した。



過酸化水素を完全に反応させたところ 0℃, 1.013×10^5 Pa (標準状態) で 112 mL の酸素が得られた。このとき過酸化水素水のモル濃度として最も適切な値をア～オから一つ選び、解答用紙の解答欄にある記号に○印を記しなさい。なお、酸化マンガン(IV)は反応速度を高めるはたらきをもつ物質で、過酸化水素水の濃度や酸素の生成量には影響はないものである。

従来の選択肢

ア 0.050 mol/L	イ 0.080 mol/L	ウ 0.10 mol/L
エ 0.12 mol/L	オ 0.15 mol/L	

新年度入試の選択肢

ア 0.010 mol/L	イ 0.012 mol/L	ウ 0.020 mol/L
エ 0.050 mol/L	オ 0.080 mol/L	カ 0.10 mol/L
キ 0.12 mol/L	ク 0.15 mol/L	ケ 0.20 mol/L
コ 0.24 mol/L		

〔解答〕 カ

- ・従来の5択の選択肢から 10 択の選択肢に変更となりますが、間違えの選択肢が増えただけなので計算して求めた過酸化水素水のモル濃度を選択肢の中から選ぶことはこれまでと同じです。

(注)

- 解答形式は従来と同様、全問選択式問題です。(記述式問題の出題はありません)
- 「学力検査」は化学基礎 20 問で試験時間は 30 分です。

＜上記に関するお問い合わせ先＞

東京聖栄大学 入試・広報課

03-3692-0238(直)

E-mail:nyushi@tsc-05.ac.jp